



11月17日(日)講道館において第33回文部科学大臣杯争奪日整全国少年柔道大会及び第14回文部科学大臣杯争奪日整全国少年柔道「形」競技会が(主催:公益社団法人日本柔道整復師会)(後援:スポーツ庁、厚生労働省、東京都、公益財団法人講道館、公益財団法人全日本柔道連盟、公益財団法人東京都柔道連盟、産経新聞)開催された。

少年柔道大会愛知県選抜チームは、先鋒:大野 陽菜選手(六郷道場)、次鋒:長谷川 琴葉乃選手(瀬戸陶原道場)、中堅:見田輝選手(六郷道場)、副将:花田 義治選手(半田少年柔道教室)、大将:太田 龍誠選手(大石道場)、監督:中村 太7段(大曾根支部)、コーチ:下山 徳大4段(笠寺支部)で参加した。また、副将の花田選手は、午後から開催の全国「形」競技会と2大会へ出場した。



初戦はシードのため2回戦からの出場となり、群馬県対高知県の勝者、群馬県との対戦となった。先鋒大野選手一本勝ち、次鋒長谷川選手一本勝ち、中堅見田選手引き分け、副将花田選手一本勝ち、大将太田選手引き分けし、3対0にて勝利した。

3回戦は、令和3年度大会優勝の兵庫県との対戦となり、惜しくも1対0にて惜敗しました。チームワークのとれた力強いチームで選手一丸となり試合に挑みましたが、全国ベスト16の結果となった。

少年大会終了後、午後1時30分から第2会場で「投の形」(内股まで)の演武を競う全国少年柔道「形」競技会が始まった。

競技方法は、まず各都道府県の代表48チームを4ブロックに分けて予選を行い上位2組が決勝戦に進出でき、決勝戦は計8組で行われ順位を決定する。

愛知県チームは、(取)花田 義治選手(半田少年柔道教室)、(受)村松 葵羽選手(半田少年柔道教室)、監督 月野 義明6段が挑んだ。



取の花田選手は、午前中の試合の疲れも感じさせない落ち着いた演武を披露したが、予選Bブロック12組中4位の結果にて上位2位に入れず、決勝進出とはならなかった。

11月中旬とは思えない暖かい気候の中、午前8時30分から始まった熱戦は午後4時、森川 伸治日整副会長の閉会の辞を以て無事に終了した。(柔道部長 中村 太)

日整 YouTube チャンネル QR コード

第33回日整全国少年柔道大会



第14回日整全国少年柔道「形」競技会



愛知県知事表敬訪問

11月13日(水)午後1時00分から愛知県公館1階ホールにて、森川会長、藤川・石川両副会長で、10月6日(日)に開催された、本会「創立100周年記念式典」へ主賓としてご臨席いただいたことへのお礼のため愛知県知事表敬訪問を本会顧問、愛知県議会議員 久保田 浩文・寺西 睦両先生にご足労いただき行った。

その際、柔道整復業界の厳しい現況を説明すると共に、現在名古屋市等で行っている訪問型サービスCを全県下で行えるよう支援とその基となる地域支援事業交付金の継続と物価高騰対策支援金のお願いを合わせて行った。(広報部)



知多市総合防災訓練

11月10日(日)、知多市旭東小学校にて知多市総合防災訓練が開催され、7名の会員が参加した。

大地震、台風接近に伴う大雨等による各種災害発生を想定し、地域住民、市、関係機関などが協力して防災訓練を実施。

当日は知多メディアス(東海市、大府市、知多市、東浦町をサービスエリアとするケーブルテレビ)のCM撮影を10秒間ですが行い、その後啓発展示コーナーにて、エコノミークラス症候群予防体操を実施した。また代表一名はトリアージに参加し、医師の指示のもと大腿骨骨折、足関節骨折、シーネ固定、肩関節脱臼の整復固定を行った。

当日の防災訓練には約400名の方に来場いただき、とても充実した訓練となった。(半田支部 村田 衛民)

